

平成27年度
たかしま市民協働交流センター協議会
事業報告

平成28年5月22日

高島市今津町中沼 一丁目4-1
たかしま市民協働交流センター協議会

目次

I. 運営委員会・会員

II. たかしま市民協働交流センター

1. 情報発信集積事業

- (1)「たかしま市民協働交流センターだより」の発行 28号～31号
- (2)ホームページ・ブログ
- (3)メールマガジン
- (4)団体登録

2. 相談支援事業

- (1)相談件数
- (2)コピー・大判プリント等対応記録

3. 市民協働交流事業

- (1)たかしま市民活動フェスタ2015
- (2)交流会事業

4. 研修事業

- (1)実務講座開催
 - ①市民活動の基本の「き」講座～会計について～
 - ②市民活動の基本の「き」講座～会計のためのエクセルの使い方～
 - ③市民活動の基本の「き」講座～寄付を集めて活動を広げよう～
- (2)まちづくり推進会議

5. 協働コーディネート

6. たかしま・未来・円卓会議

- (1)朽木のみんなと円卓会議
- (2)たかしま森林資源活用プロジェクト

7. 高島らしい働き方暮らし方発信事業

8. その他

- (1)研修参加記録
- (2)外部委員会等参加記録
- (3)講師等対応記録

III. 今津東コミュニティセンター

- (1)利用状況
- (2)自主事業

I. 運営委員会・会員関連

会員数

正会員 37名、賛助会員 9名（団体、個人）

第1回 4月22日（水）19：30～21：30

今津東コミュニティセンター 会議室3

出席者 10名、欠席者 2名

総会 5月21日（木）19：30～21：00

今津東コミュニティセンター 会議室3

出席者 24名、欠席者 6名

第2回 5月21日（木）21：00～21：30

今津東コミュニティセンター 会議室3

出席者 9名、欠席者 3名

第3回 7月23日（木）19：30～21：30

今津東コミュニティセンター 会議室3

出席者 9名、欠席者 3名

第4回 11月25日（水）19：30～21：30

今津東コミュニティセンター 会議室3

出席者 8名、欠席者 4名

第5回 平成28年1月19日（火）18：30～19：30

可以登楼別館

出席者 9名、欠席者 3名

第6回 3月30日（水）19：30～21：30

今津東コミュニティセンター 会議室3

出席者 8名、欠席者 4名



Ⅱ. たかしま市民協働交流センター

1. 情報発信集積事業

(1) 情報誌「おむすび・たかしま」の発行

発行部数 18,000部

配布先 自治会を通して市内全戸、全公民館、図書館、ホール、高島市内滋賀銀行各支店、
関西アーバン銀行、市内郵便局、市内小中学校、今津サンブリッジホテル

目的 市民活動や協働に関する情報とともに、高島市内の市民活動や企業の社会貢献活動などを取材、紹介することにより、さまざまな人、活動団体、企業がつながることを目的に発行した。

また情報誌の仕分け作業について、社会的ひきこもり家族の会「みにとまと」と連携し、仕事体験と家族間交流の場とした。

◆28号 7月1日発行

1. 表紙（高島市協働提案事業について紹介）：ヴォーリズ今津郵便局の会
2. 市内活動団体紹介<2団体>（いろいろやっています！ in 高島）：
・NPO 法人子育て ・子育てサポートきらきらクラブ ・大溝祭保存会
3. NPO市民活動 質問箱：NPO 法人と任意団体の違いって何ですか？
4. たかしまの元気！企業：近江通商株式会社
5. 掲示板（センターイベント情報、市民活動団体イベント情報、コミセン情報）
・東コミセン 料金改定の件 ・市民活動基本の「き」講座～会計について～
・たかしまつながり隊（イベント紹介） ・フェスタの日程
6. 企業広告：株式会社 内藤設計

◆29号 10月1日発行

1. 表紙（高島市協働提案事業について紹介）：たかしま発酵つながり隊
2. 市内活動団体紹介<2団体>（いろいろやっています！ in 高島）：
・朽木・群・ひとネットワーク ・NPO法人絵本による街づくりの会
3. NPO市民活動 質問箱：地域課題について地域で共有するためには？
4. たかしまの元気！企業：株式会社杉岡織布
5. 掲示板（センターイベント情報、市民活動団体イベント情報、コミセン情報）
・たかしま市民活動フェスタ2015 イベント告知 ・後期展示ホールの内容
・たかしまつながり隊（イベント紹介） ・「柝の木祭」のお知らせ（イベント紹介）
6. 企業広告：株式会社 澤村

◆30号 2016年1月1日発行

1. 表紙（高島市協働提案事業について紹介）：高島市 市民協働課
2. 市内活動団体紹介<2団体>（いろいろやっています！ in 高島）：
・湖西の障がいのある人を応援する くれよんの会 ・トンボとその仲間たち

3. NPO市民活動 質問箱：

活動へ寄付を集めて応援者を増やしたいのですが、何から始めればいいでしょうか？

4. たかしまの元気！企業：栗本林業

5. 掲示板（センターイベント情報、市民活動団体イベント情報、コミセン情報）

- ・市民活動基本の「き」講座～会計のためのエクセルの使い方～
- ・市民活動基本の「き」講座～寄付を集めて活動を広げよう～
- ・後期展示ホールの内容
- ・市民活動団体の事務局支援サービスのお知らせ

6. 企業広告：今津サンプリッジホテル

◆31号 4月1日発行

1. 表紙（高島市協働提案事業について紹介）：朽木のみんと円卓会議

2. 市内活動団体紹介<2団体>（いろいろやっています！ in 高島）：

- ・夢カフェ・たんぼぼ
- ・男のまかないクラブ

3. NPO市民活動 質問箱：HPやブログ、フェイスブックの違いは？

4. たかしまの元気！企業：アドベリー生産協議会

5. 掲示板（センターイベント情報、市民活動団体イベント情報、コミセン情報）

- ・東コミセン 料金改定の件
- ・たかしま市民協働交流センター協議会 会員募集
- ・前期展示ホールの内容

6. 企業広告：西川運送有限会社



(2) ホームページ・ブログ・Facebook

ホームページ：<http://tkkc.takashima-shiga.jp/>

ブログ：<http://tkkc.shiga-saku.net/>

◆ホームページは、事業報告、情報誌、利用案内などを掲載

リンクコーナーには、高島市内の多様な市民活動などを<子育て支援>や<文化・歴史>、<福祉・保健>などのジャンルごとに分類し、掲載。

現在のリンク数 市内市民活動団体 73 団体

ブログは、センターからのお知らせ、イベント報告、市内外の市民活動団体の講座やイベント、助成金情報、市民活動に役立つ行政や企業によるイベントなどを掲載した。

センターからのお知らせ	8件
市民活動フェスタ関連	13件
円卓会議関連	18件
高島市の市民活動情報	88件
滋賀県・全国の市民活動情報	45件
助成金情報	44件
ボランティア募集情報	5件
行政、企業からのお知らせ	74件
その他	12件

(3) メールマガジン

登録件数 129件（平成28年3月末現在）

発行回数 17回（月2回発行）

内容 センターのイベント、講座紹介、市民活動団体の広報、助成金情報、市外、県外の市民活動団体向け講座やイベント情報などを発信した。

(4) 団体登録

登録件数 171件

団体ファイル管理数 111

登録団体リストは、団体紹介依頼への対応に活用した。また、当センターのイベントや講座案内などを送付し、登録団体のスキルアップや当センターとのつながりを意識してもらえるように工夫した。

団体ファイルは、登録団体からのチラシや情報紙などを保存し、団体の活動について把握する目的で管理を行った。

2. 相談支援事業

(1) 相談件数 74件

内容	1. NPO 法人設立・組織運営相談	20件 (20.5時間)
	2. 団体・人紹介	28件 (18.5時間)
	3. 助成金相談	4件 (3.5時間)
	4. 協働提案事業相談	2件 (1.5時間)
	5. 視察相談	2件 (1.0時間)
	6. 講師、委員依頼	6件 (8.0時間)
	7. その他	12件 (11.0時間)

(移住に関するもの、コミュニティビジネス、障害者の就労、大学生の研究、自治会活動など)

今年度は、NPO 法人設立相談が4団体あり、NPO 法人のメリット、デメリットの解説、定款作成などを継続的にサポートした。そのうち1団体は NPO 法を設立し、1団体は認証申請中である。また、1団体は長浜市木ノ本町のグループからの相談だった。長浜市では市民活動支援センターが平成28年度に設立される予定であり、今後は長浜市との連携も広げていきたい。その他 NPO 法人関係の相談では、定款の変更手続きや登記に関するものなど運営に関するものが多かった。

団体や人紹介では、市内外からの問い合わせに対応した。

助成金では、申請書の書き方等をサポートした団体が淡海ネットワークセンターの表彰に採択された。

その他、市内に移住した方や移住を検討している方から、ボランティア活動で参加できる団体や市民活動全般に関する相談があった。

◆視察訪問

藤井寺市区長会研修 10月27日(火)



(2) コピー・大判プリント等対応記録

①コピー・大判プリントの対応 463件 (件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
28	46	40	44	31	43	44	35	38	37	36	40

②機材貸出 19件 (プロジェクターの貸出 18件、ビデオカメラの貸出 1件)

3. 市民協働交流事業

(1) たかしま市民活動フェスタ 2015

名称：たかしま市民活動フェスタ 2015 ～共にひらこう！高島の扉（みらい）～

日時：2015年10月17日（土）10:00～15:00

会場：今津東コミュニティセンター

出展団体：37 団体 延べ来場者数：約500人

目的：市内各地で活動する市民活動団体が分野や地域を越えて、お互いに出会い、交流する機会を持つと同時に、市民の市民活動への理解を広め、出会いと参加の機会とすることを目的に開催。

◆2015年 共同実行委員長（4名）（実行委員16名）

桂田孝太 所属：高島市青年協議会

川嶋真由美 所属：NPO 法人子育て・子育てサポートきらきらクラブ

西川将平 所属：（公社）高島青年会議所・たかしま市民協働交流センター運営委員

三上和之 所属：FEC 自給圏ネットワーク

◆会議等

- ① 4/30 フェスタ準備会 出席者数/5名
【内容】前年度のふり返りと今年度に向けた意見交換
- ② 5/22 フェスタ準備会 出席者/9名
【内容】フェスタ実施日程の決定、実行委員会募集について
- ③ 6/15 第1回フェスタ実行委員会 出席者数/17名
【内容】実行委員長の決定、スケジュール作成
- ④ 6/29 第2回フェスタ実行委員会 出席者数/12名
【内容】テーマについて、参加団体交流会について
- ⑤ 7/15 第3回フェスタ実行委員会 出席者数/11名
【内容】テーマの決定、つながりカフェについて
- ⑥ 7/27 第4回フェスタ実行委員会 出席者数/14名
【内容】つながりカフェの内容と担当について、参加団体募集について
- ⑦ 8/1 つながりカフェのための試行的ワークショップ 参加者/8名
【内容】寸劇ワークショップ内容の検討
- ⑧ 8/5 つながりカフェ 参加者/17団体・28名
【内容】趣旨、テーマの共有、グループワークで寸劇WS
- ⑨ 8/24 第5回フェスタ実行委員会 出席数/11名
【内容】つながりカフェのふりかき、参加団体相談会について
- ⑩ 9/7 第6回フェスタ実行委員会 出席者数/14名
【内容】相談会の役割分担と組み立てについて
- ⑪ 9/14 参加団体相談会 出席数/20団体・25名
【内容】趣旨、テーマなどの共有、部会毎のミーティング、全体ミーティング

- ⑫ 9/28 第7回フェスタ実行委員会 出席者数/12名
【内容】会場と全体スケジュールの確認、PRチラシについて
- ⑬ 10/9 第8回フェスタ実行委員会 出席者数/13名
【内容】会場配置、スケジュールの確認、フィナーレの内容共有、交流会について
- ⑭ 10/26 ふりかえり会 出席者/10名
【内容】アンケート結果の共有と反省点、良かった点などの整理、次年度アイデアなど

【たかしま市民活動フェスタ2016】

フェスタ終了後の「ふりかえり会」では、実行委員会の想いとして「もっと参加団体同士が交流できるようにしたい」という意見があった。例年通りのスタートでは団体同士が交流し、関係を積み上げる期間が短く、イベントを開催するためだけの集まりになりやすい。そのため次年度のフェスタに向けた準備を始めた。

- ⑮ 12/7 フェスタ2016準備会① 出席者/9名
【内容】ふりかえり会のふりかえり、他己紹介ムービーとつながりカフェについてなど
- ⑯ 1/12 フェスタ2016準備会② 出席者/8名
【内容】つながりカフェについて、次年度アイデアなど
- ⑰ 2/1 フェスタ2016準備会③ 出席者/7名
【内容】第1回つながりカフェの内容検討、実行委員会募集についてなど
- ⑱ 2/13 つながりカフェ 参加者/13団体・28名
【内容】趣旨、テーマの共有、他己紹介ムービー鑑賞、妖精の扉について意見交換など
- ⑲ 3/14 第1回フェスタ実行委員会 出席者数/16名
【内容】メンバー自己紹介、フェスタへの想いの共有、スケジュール案の共有など



◆コラボ企画

◆全館をつかって、高島高校JRC部による「妖精の扉」を展示

・実行委員会メンバーが所属する団体をメインに、事前にピックアップした団体をイメージした「妖精の扉」を、館内の色々な場所に展示し、スタンプラリーを実施した。

◆1Fロビーにて高島らしさについて高校生といっしょに語り合う

・「つながりカフェ in フェスタ～高島らしさを見つけよう！WS」と題して、高島市内の高校生や青年団、そしてまちづくり活動がんばる方々が高島らしさについて、語り合った。

◆2F和室でフェスタ限定のカフェコーナー開設について

・2Fの和室（大）では、複数の団体によるカフェコーナーを開設しました。絵本のバザー

やとちもちぜんざい、防災ごはんの配布や子ども向けのクイズやゲームも実施。演劇集団つばめによる、演劇ワークショップでは、演劇の魅力を体験してもらった。

◆3Fロビーでコラボバザー開設について

- ・3Fロビーでは、複数の団体によるバザーコーナーを開設した。

◆1Fロビーにて、【国際的な】HUG（避難所運営ゲーム）体験を実施

- ・高島市国際協会の主催で、ミシガン州の友好使節団といっしょに、HUG（避難所運営ゲーム）を実施した。

◆全員参加フィナーレ&プレゼント抽選会

プレゼント提供団体数：16団体 プレゼント総数：34個

- ・(社福)虹の会 ドリーム・あんです ・高島市 環境政策課 ・ヴォーリス今津郵便局の会
- ・精神保健ボランティアグループO(わ) ・ナルクびわこ高島 ・夢カフェ たんぽぽ
- ・巨木と水源の郷をまもる会 ・ボーイスカウト高島第3団 ・男のまかないクラブ
- ・NPO法人 絵本による街づくりの会 ・高島市障がい者相談支援センター コンパス
- ・ひきこもり家族の会 みにとまと ・NPO法人 子育て・子育てサポートきらきらクラブ
- ・NPO法人麻生里山センター ・NPO法人 たかしまプロデュース
- ・高島市共同募金委員会



◆イベントチラシ等



PR チラシ ※共同実行委員長 桂田氏デザイン

プレゼント抽選会チラシ

◆イベント当日の様子



◆高島高校JRC部が制作した「妖精の扉」19団体分



◆他己紹介ムービー

フェスタ実行委員会では、フェスタ参加団体同士の交流を深めてもらう機会として、自分の団体を他の団体の方に紹介してもらう「他己紹介ムービー」を撮影し、フェスタ終了後の交流会（2015/10/17）とつながりカフェ（2016/2/13）で上映した。



たかしま市民活動フェスタ2015来場者アンケート

回答 124(回答数56)

質問1 フェスタに参加されていかがでしたか？

①とても良かった	31
②良かった	26
③あまり良くなかった	0
④無回答	50

質問2 市民活動やボランティアに興味を持たれましたか？

①とても興味をもった	19
②少し興味を持った	37
③あまり興味を持たなかった	1
④無回答	50

質問3 市民活動やボランティアに参加しようと思いますか？

①ぜひ参加したい	10
②機会があれば参加したい	41
③あまり参加しようとは思わない	4
④無回答	52

★本日のご感想、ご意見、関心を持った活動団体へのメッセージなどをお書きください。

いままで知らなかった。(57歳・女性)
とても良かったです。(11歳・男性)
とても楽しかったので、また来年も来たいです。(10歳・女性)
楽しかった。いろんな活動をしている団体があり、知らなかったことが多かった。(51歳・男性)
今年も新たなつながりをいただきました！！ありがとうございました。(50代・女性)
トチの実をお土産に出来て、うれしいです。(10歳・男性)
ずかんがかえてうれしかったです。(7歳・男性)
おもしろかった。(7歳・男性)
楽しかった。(9歳・女性)
これからも頑張ってください！(63歳・女性)
ざっくばらんな集まりで良かった！(68歳・女性)
初めて来ました。良かったです。(55歳・女性)
余裕ができればボランティアもいかなと思います。(64歳・女性)
くつきの森 麻生里山センター(67歳・男性)
参加して良かった。(70代・女性)
はんこ集めが楽しかったです。(8歳・女性)
わなげが楽しかった。また来たい。(5歳・男性)
スタンプラリーなど、遊びながら見たり出来て楽しかった。(11歳・女性)
初めての参加でした。外国人が多くてびっくりしました。(71歳・男性)
スタッフの方がとても明るく親切でした。(78歳・女性)
すごく楽しかった。私はボーイスカウトで参加出来て良かったと思います。(10歳・女性)
はんこがむずしかったけど、たのしかった。(7歳・女性)
参加団体のため、あまり散策ができなくて、残念だったのですが、おかげさまでステキな出会いがありました！(30代・女性)

(1) 交流会

①たかしま市民活動フェスタ2015 つながりカフェ

日時：2015年8月5日(水) 19:30~21:30

会場：今津東コミュニティセンター ホール

参加：28名(17団体) 参加費：100円(コーヒー代)

目的：参加を希望する団体が、たかしま市民活動フェスタのテーマや目的を共有し、参加団体がお互いに交流を深めるための機会を持つことを目的に開催した。特にグループワークでは、参加団体同士が関係性を深めるための仕掛けとして、各グループが団体紹介を盛り込んだ寸劇を考え、発表した。

内容：

1. 実行委員会からフェスタへの思い、フェスタがめざすことを発表
2. つながりカフェタイム（5～6名のグループを作り、自己紹介、団体紹介の寸劇を考える）
3. みんなで共有（各グループで寸劇を発表する）

【グループで考えた寸劇】

①オカリーナとゆかいな仲間たち

「オカリナのんのん」の活動を取り上げつつ、グループに集まったそれぞれの団体紹介を盛り込んだ見事なシナリオを考えた。

②きらきらクラブの活動紹介

「きらきらクラブ」の活動を取り上げると同時に、きらきらクラブの栗田さん（フェスタ実行委員）の座右の銘「死ぬこと以外はかすり傷」をテーマに爆笑の寸劇を発表。

③オカリナのんのん～家族のきずな

「オカリナのんのん」の活動を取り上げ、チーム①と発表が被ったが、演者も内容も違うと、こうも違うのかと思うくらいの、別の楽しさを表現。

④社会的ひきこもり家族の会「みにとまと」

社会的ひきこもり家族の会「みにとまと」の活動を取り上げ、身近な社会で起こるつまづきに光を当てて、最後は希望が感じられる寸劇を演じた。

⑤木の駅プロジェクトの活動紹介

「木の駅プロジェクト」の活動を取り上げ、木の駅プロジェクトの仕組みと地域通貨「やまびこ券」について紹介。

◆イベント当日の様子



②たかしま市民活動フェスタ2015交流会～もっと、つながりカフェ～

日時：2015年10月17日（土）16：00～17：00

会場：今津東コミュニティセンター ホール

参加費：500円（お茶、お菓子代）

参加者：23名

目的：フェスタを振り返り、参加の感想や次回へのアイデアなどをお互いに出し合い共有すること、フェスタの中でじっくり交流できなかった参加団体同士の交流の場として開催。

内容：フェスタ会場で当日撮影した「他己紹介ムービー」と高島高校JRC部が制作した「妖精の扉」をスクリーンで映し、フェスタの感想や次回へのアイデアなどをお互いに出し合った。

【参加団体アンケート】 参加団体 37団体 回答 21団体

●自由コメント（一部抜粋）

- ・多くのグループと付き合いがスムーズにできる。今後の活動に良い結果をもたらすものと思っている。他のグループとの提携等、参考にできるところが良い。
- ・こんなに良いフェスタをもっと多くの人に知ってもらおう工夫が大切と思いました。よくわかりませんが、はじける催し物があるといいですね。
- ・普段、市民活動に取り組んでおられる方と出会うことが少ないので、とても貴重な機会となりました。多くの方に興味を持っていただけてよかったです。

③たかしま市民活動フェスタ2016 つながりカフェ①

日時：2016年2月13日（土）13：30～15：30

会場：今津東コミュニティセンター ホール

参加者：28名（13団体） 参加費：100円（コーヒー代）

目的：フェスタで撮影した「他己紹介ムービー」や「妖精の扉」について、企画意図や目的を参加団体同士共有し、次年度のフェスタについて、ざっくばらんに語り合い、更に交流を深めることを目的に開催。

内容：【高島高校JRC部】をゲストに、フェスタ会場で当日撮影した「他己紹介ムービー」と高島高校JRC部が制作した「妖精の扉」をスクリーンで映し、フェスタの感想や次回へのアイデアなどをお互いに出し合い、交流を深めた。

【参加者アンケート】 参加者 28名 回答 18名

●自由コメント（一部抜粋）

- ・本校部員が楽しくしていたようです。いい経験になったと思います。
- ・全然知らない方のお話を聞いて、その方のことを少し知れて、他己紹介も新鮮で楽しくお話が出来たので、良かったです。
- ・たかしまのために協力しようと思っている人が、こんなにたくさんいたので、びっくりしました。いろんな団体があって、いろんな人がいて、たかしまのことについてもっと知りたいなと思いました。
- ・他己紹介ムービーは何度見ても楽しかったです。他己紹介は打ち解けられて楽しかったです。JRCの生徒さんと一緒に交流出来て、新鮮でした。市民活動フェスタの振り返りが出来て良かった。

◆イベント当日の様子



4. 研修事業

(1) 実務講座開催

市民活動団体の運営に役立つ講座として、お金に関する講座を開催した。

①市民活動の基本の「き」講座～会計について～

日時：平成27年7月8日（水）19：00～21：30

会場：今津東コミュニティセンター ホール

参加人数：8名（6団体／市民活動4団体、自治会関係2団体）

講師：仲野優子さん（認定NPO 法人しがNPO センター 専務理事）

参加費：1団体 500円（資料代）

◆目的

市民から会費や寄付を集めて活動している市民活動団体にとって、分かりやすく、正確な会計が、なぜ大切なのかを理解し、日々の会計管理と決算、会員等への報告の大切さを学ぶために開催した。

◆内容

団体の運営を支える会計の日々の管理について、講義とワークで学んだ。

◆アンケート結果

参加者 8名 回答者 8名

問 内容について

大変よかった 2名、良かった 6名、ふつう 0名、あまり良くなかった 0名

自由記述

- ・レシートや領収書が無い場合の処理の仕方が参考になった。
- ・ワークショップが具体的で分かりやすかった。資料などとてもよく準備されていて、良かった。
- ・領収書を科目に分け、番号順に分けておく方法はとてもよく理解でき、納得できた。
- ・何か、なあなあでやってきたこと、そこに漠然とした不安があったが、色々気づかされたことは大きい。帰ってからすぐに活かしたい。



②市民活動の基本の「き」講座～会計のためのエクセルの使い方～

日時：平成28年1月20日（水）19：00～21：00

会場：今津東コミュニティセンター ホール

参加人数：9名（6団体+個人/市民団体2団体、自治会関係2団体、その他）

講師 斉藤富士夫さん（NPO 法人湖南ネットしが 理事長）

◆目的

市民活動団体の会計について、7月に講座を開催し、参加者からエクセルを使った簡単な会計管理の方法について講座の要望があり企画した。基本的なパソコン操作を理解しているレベルを対象とし、日々の会計管理と月々のまとめのために、初歩的なエクセルの活用方法を理解する目的で開催した。

◆内容

エクセルでの現金出納帳と集計表の作成を講義とワークをとおして学んだ。

◆アンケート結果

参加者 9名 回答者 9名

問 内容について

大変よかった 5名、良かった 3名、ふつう 1名、あまり良くなかった 0名

自由記述

- ・業務での入力の際、効率アップにつながる使い方を知ることができた。
- ・分かりやすかったが、何回かレベルを分けて変えて、実施して欲しい。
- ・知らないことが多く、学ぶことが出来てよかったです。
- ・パソコンは触るだけで、ほとんどできなかったものが、知りたいことすべて解決した。
- ・分かりやすいので参加してよかった。まだまだ勉強が足りませんが。
- ・普段、エクセルを使っているが、独学でやっていた為、技術が学べてよかった。活かしていきたい。



③活動の基本の「き」講座～寄付を集めて活動を広げよう～

日時：平成28年2月4日（木）19：00～21：00

会場：今津東コミュニティセンター ホール

参加人数：15名（11団体+個人/市民団体7団体、行政、その他）

講師 戸田由美さん（認定ファンドレイザー、高島市職員）

◆目的

市民活動やボランティアグループでは、継続的な活動のための資金集めが常に課題として上げられている。資金集めの一つである寄付についての基本を学ぶ機会として企画した。寄付を集めるために、活動の目的や内容を分かりやすく伝えることや、寄付の用途を明確にし、報告することなど、基本的な考え方を理解するは目的で開催した。また、市内で取り組まれたクラウドファンディングの事例についても紹介した。

◆内容

- ・日本の寄付状況、ファンドレイジングの基礎および事例紹介などの講義。
- ・高島市と長浜市で取り組まれたクラウドファンディング紹介
 - ・びわ湖高島野鍛冶復活プロジェクト 岡野史子さん
 - ・参加者・舞台の作り手皆が主役の音楽祭を琵琶湖・滋賀で行いたい 川瀬智久さん

◆アンケート結果

参加者 15名 回答者 10名

問 内容について

大変よかった 5名、良かった 4名、ふつう 1名、あまり良くなかった 0名

自由記述

- ・寄付を集めて活動が広げられる様な気がするし、ポイントをおさえる上で、自分の活動の中味を変えていけるアイデアをもらった。
- ・事例があったので、具体的で分かりやすかった。寄付集めの方法もいろいろあることを学ぶことができた。
- ・講師のお話、とても分かりやすく、他の要素とも結びつくイメージがあり、とても良い学びになった。
- ・ファンドレイジングの世界を知ることができてよかった。時代は確実に変わっていることを感じた。



(2) 高島市まちづくり推進会議

持続可能な高島市のために、市民と行政は何ができるのか、何から始めればいいのか、課題の整理とそれぞれの役割、取り組むべきことを明らかにするための場として開催された。たかしま市民協働交流センターは事務局として参画した。

<意見交換会>

第1回 5月18日(月) 10:45~14:00 高島市役所

内容: まちづくり推進会議の運営について

第2回 6月2日(火) 13:45~17:15 高島市役所

内容: まちづくり推進会議の進め方について

視察~山間部集落の現在を知る 高島市マキノ町野口地区~北地区

<第1回推進会議>

日時: 6月21日(日) 13:30~16:30 高島市観光物産プラザ

内容: ウィッシュポエムづくり、グループ分け

部会【観光】【子育て】【一体感】【自然】【若者定住】【高齢者】

<部会への参加>

【観光】7月29日(水) 13:30~ 高島市観光物産プラザ

8月19日(水) 13:30~ 高島市観光物産プラザ

10月19日(月) 14:00~ 旧新旭公民館

【子育て】7月29日(水) 9:00~ 安曇川公民館

【一体感】7月4日(土) 13:30~ 安曇川公民館

【若者定住】7月14日(火) 19:30~ 高島市観光物産プラザ

8月17日(月) 19:30~ 高島市観光物産プラザ

8月31日(月) 19:30~ 高島市観光物産プラザ

9月18日(金) 20:00~ 高島市観光物産プラザ

【高齢者】7月9日(木) 19:30~ 安曇川公民館



<第1回運営会議>

日時：8月21日（金）13：30～ 今津東コミュニティセンター

内容：各部会の方向性と推進会議の運営方法について

<第2回推進会議>

日時：10月25日（日）9：30～12：00 今津東コミュニティセンター

内容：各部会の協議内容共有、意見交換

<第2回運営委員会>

日時：12月15日（火）19：00～ 高島市観光物産プラザ

内容：各部会リーダーから方向性と課題の報告、連携の可能性について意見交換

<調整会議>

日時：平成28年3月27日（日）17：00～ 今津サンプリッジホテル

内容：次年度運営体制、推進会議の方向性について

5. 協働コーディネート

① 協働セミナー

日時：10月20日（火）19：00～21：00

会場：今津東コミュニティセンター ホール

講師：田中 優さん（大阪国際大学現代社会学部准教授）

◆目的

市民協働の基礎を理解し、事業提案予定者同士が対話し、交流することにより、新たなアイデアや団体同士の事業連携や協力関係が芽生えることを目的として開催。

◆内容

「市民主体の協働型まちづくりを考える

—大阪府枚方市菅原東校区の事例をもとにして—

基調報告

「小学校区単位の協議会を中心にしたまちづくり報告—大阪府枚方市菅原東校区の事例より—」

報告者 宮原保子氏

（NPO 法人すがはらひがし理事長 菅原東校区コミュニティ協議会会長）

グループセッション

「高島市において市民主体の協働型まちづくりを実現・展開していくためには？」

② 協働提案事業に関する相談対応 2件

・高島つながり隊

③ 平成27年度市民協働提案事業中間点検

日時：10月30日（金）9：00～

会場：高島市役所

対象：高島つながり隊

④ 平成28年度実施市民協働提案事業 プレゼンテーション・審査会

日時：11月16日（月）9：30～15：30

会場：新旭公民館 多目的ホール

アドバイザー：坂下靖子

⑤ 平成27年度協働提案事業成果発表会

日時：3月23日（水）14：00～16：00

会場：今津東コミュニティセンター ホール

内容：事業結果報告（2事業）

ディスカッション

・協働のプロセスについて検証、事業の継続について

ファシリテーター：坂下靖子

6. たかしま・未来・円卓会議事業

(1) 朽木のみんなと円卓会議

市内で最も高齢化が進む朽木地域で、さまざま世代、職業、男女など、多様な人々が対話し、地域課題や地域の未来について、できること、すべきことなどを具体化するために、知恵と力を出し合う対話の場づくりをめざして実施した。この場づくりをとおして、朽木住民福祉協議会と共に、朽木に住み、朽木のこれからの関心を持つ人々がつながり、持続可能な地域を支える仕組みづくりの支援を行った。

<運営メンバー>

朽木住民福祉協議会

高島市社会福祉協議会 朽木担当 宮田早苗

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター 金 再奎、木村道徳

NPO 法人循環共生社会システム研究所 岩川貴志

総合地球環境学研究所 熊澤輝一

滋賀県立大学地域共生センター 北井 香

東京大学 梶谷真司、江口 建、阿部ふく子

たかしま市民協働交流センター 坂下靖子、原田 将

高島市 市民協働課、朽木支所

<若者との円卓会議>

朽木住民福祉協議会で策定された朽木住民福祉活動計画「あいの郷」プランは、10年後を見据えた、安心して暮らすまちづくりのための行動計画である。今年度当初には朽木地域に全戸配布されて周知されたが、「あいの郷プラン」への市民の関心を高め、行動計画の実施に多くの市民を巻き込むことを目的に若者との円卓会議の場を持った。

●第1回「若者の朽木が好き！から始まる、朽木で私ができることを考える」

日時：7月22日（火）20：00～22：00

場所：朽木ふれあいセンター

参加者：12名（地元7名、移住5名）

内容 ・アイスブレイク（バースデーライン、他己紹介）

・グループ対話① 朽木の好きなところ、魅力的なところや人

・グループ対話② 朽木の心配なところ、不安なこと

◆朽木の好きなところ、魅力（一部抜粋）

・「ほどよい田舎」なところ。都市へも行きやすい。

土地は安くて住みやすい。

・人との距離感が心地よい。声かけてもらって、地域に受け入れてもらっていると感じる居心地のよさ

・住民自身が地域の里山を守ろう、残していこうという気持ち。

・自然の豊かさ、自然が作り出す風景、空気のきれいさ、水や米のおいしさ。

◆朽木の心配なところ（一部抜粋）

・子どもが少なくなっている。

・学校では選べるクラブが少ない。

・地域に戻ってきた若者や入ってきた若者に、地域の後継者として「期待感」が大きい。

・誇りの希薄化を感じる。地域への関心が薄れている気がする。

・災害に弱い。独居の高齢者の不安はさらに大きいのでは。どうやって避難するのか？

●第2回「若者の朽木が気になる！から考えよう、朽木で私ができることを話そう」

日時：8月7日（金）20：00～22：00

会場：朽木ふれあいセンター

参加者：6名（地元4名、移住2名）

内容 ・前回のふりかえり

・朽木の気になることについて、どんなことや活動があるといいか？

◆こんな活動があるといい(一部抜粋)

- ・観光向けではなく、地域のお母さん、おばちゃんが気楽に集まれる店や場所があるといい。
- ・保育園から中学までの間に、子どもたちに地域の良さを植え付ける活動。
- ・高校卒業、あるいは高校生でも青年団に入って地域とつながる活動をする。
- ・子どもたちが自然で遊ぶ機会を増やしたい。
- ・朽木の山の木を使う体験、木工品作りなどを学校の授業でする。 など



感想として、「普段話せない内容が話せてよかった。」「朽木で育ってきて気づかないことを、移住してきた人はいろいろ表現しており、それを聞いて良かった。」「何かカタチにできたり、このような動きが続けられるといい。」などの発言があったが、一方で、「自分が発言したことを実現できない状況で、話すことに不安を感じる」という発言もあった。

<安心して話せる対話の場づくり>

2回の「若者との円卓会議」の感想から、地域で安心して話せる場や関係性を作る必要性を強く感じた。運営メンバーで検討の結果、朽木のさまざまな年代、男女、立場の人が地域の魅力も心配も安心して話せる対話の場づくりと対話できる関係性づくりを目的に、対話の場づくりを実施した。

●コミュニケーションの力をのばす「哲学対話」ってなんだろう

日時：8月20日（木）20：00～22：00

会場：朽木ふれあいセンター

参加者：13名（市内9名、市外4名）

講師：梶谷真司さん（東京大学教授）

内容 ・哲学対話について・哲学対話の体験・感想の共有

《対話のルール》

- ・何を言ってもいい
- ・他人の発言を笑ったり否定しない
- ・話している人のことに耳を傾ける
- ・話したくなければ話さなくてよい
- ・急がず、ゆっくり考える
- ・結論に至らなくてもよい
- ・分からなくなってもいい

◆感想(一部抜粋)

- ・他の人の話を聞いているうちに、1人ひとりがいとおしく感じてきて、もっと聞いていたくなった。
- ・思索的になる。他者と向き合いながら、自分に向き合っているのを感じた。
- ・暖かい空間になって心地よかった。
- ・「話さなくてもいい」という安心感がよかった。
- ・話が盛り上がる特効薬があるのかと思っていたが、こういう対話もあるのだ！もっと話していたいと思った。

●対話から地域の共感と安定したコミュニティを生み出す研究について聞いてみよう

日時 10月5日(月) 20:00~22:00

会場 朽木ふれあいセンター

参加者 14名(市内10名、市外4名)

講師 梶谷真司さん(東京大学教授)

内容 ・研究テーマ「ローカルスタンダードとは何かー地域社会変革のためのインクルーシヴ・アプローチの理論と実践」について



●朽木中学校の哲学対話

中学生が故郷朽木の魅力や気になることをどのように考えているのかを互いに知り、また気になることに対して、自分たちができることを考える機会を作ることを目的に、学校と調整した。その結果、生徒同士が安心して対話する関係性づくりが大切であると学校では考えており、哲学対話を2回実施することとなった。

<1回目>

日時：10月6日(火) 1-2年生：3, 4時間目 3年生：5, 6時間目

講師：梶谷真司さん(東京大学教授)、阿部ふく子さん(東京大学特任研究員)、
江口 健(東京大学特任研究員)

内容 ・市民協働交流センター、朽木住民福祉協議会の紹介

・質問ゲーム

・対話のルール説明

・対話「タイムスリップできるとしたら、いつ、どこで、何をしたい？」

実施後、講師3名、朽木中学校長、朽木住民福祉協議会、運営メンバーとふりかえりをした。校長から、哲学対話で中学生のコミュニケーション力を伸ばしたいという思いが話された。運営メンバーからも、継続的な対話の時間を持つことが必要ではと感想が出された。

<2回目>

日時：10月20日（火）3年生：3、4時間目 1-2年生：5、6時間目

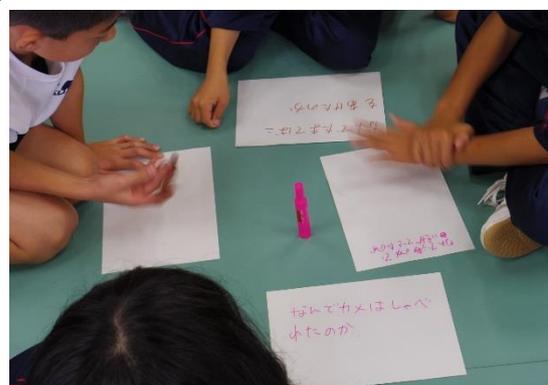
講師：梶谷真司さん（東京大学教授）、阿部ふく子さん（東京大学特任研究員）、
江口 健（東京大学特任研究員）

内容 ・アイスブレイク（ゲーム）

・対話のルールの説明

・絵本から哲学対話（3年生：かぐや姫 1-2年生：うらしま太郎）

絵本を読み聞かせ、疑問を出し合い、そこから一般的な質問に高め、その質問からテーマを選び、対話を進めた。



ふりかえり

中学校での対話を終え、地域住民の間でも年齢や性別を越えた多様な住民が、地域の事などを話ができるかという、話しにくいという課題が出された。多様な住民で哲学対話を進めることが必要だということになった。

<地域資源を使った対話の場づくり>

若者、中学校での円卓会議を振り返り、地域課題を直接話題にするのではなく、地域資源を使い、多様な市民の対話の場をつくることとした。朽木では伝統的な保存食としてへしこが漬けられているが、主に年齢の高い方には身近な物だが、若い世代は食することも少ない。地域資源であるへしこを題材に世代をつなぐ対話できる関係性づくりを目的に開催した。参加者がお互いに朽木で何を大切に、伝えていきたいと考えているのかを知る機会となった。

●朽木で、ずっと伝えていきたいものってなんだろう？①

日時：12月13日（日）14：00～16：00

会場：朽木保健センター

参加者：14名（一般10名、朽木住民福祉協議会3名、市社協1名）

内容 ・へしこの作り方を聞こう

・へしこのお料理を作って、試食

(刺身、へしこ焼き、カブとへしこのパスタ、へしこのバーニャカウダーソース)

・朽木で伝えていきたいものについて対話

◆感想(一部抜粋)

- ・日頃の食べ方がマンネリ化していたので、こんな工夫をすればという事がわかってよかった。
- ・悪いイメージのへしこでしたが、パスタなどを試食してよい食材だと気がつきました。
- ・へしこの調理方法、大変参考になりました。
- ・他の家の食べ方など、なかなか聞けないのでよい機会でした。もっといろんな食べ方をしたくなった。
- ・料理のことだけでなく、朽木のこと、色々なテーマで対話できればいい。



●朽木で、ずっと伝えていきたいものってなんだろう?②

日時：1月31日(日) 13:30~16:00

会場：朽木保健センター

参加者：13名(一般9名、朽木住民福祉協議会3名、市社協1名)

講師：他谷昌子(美食倶楽部/発酵つながり隊 代表)

- 内容
- ・発酵食品としてのへしこについて話を聞く
 - ・へしこの使い方(へしこオリーブオイル漬け、へしこピザ、へしこ焼き飯)
 - ・朽木で伝えていきたいものについて対話

◆感想(一部抜粋)

- ・色々な年代の方と一緒に「へしこ」を交えて話が出来たのが、とても楽しかった。
- ・「へしこ」のイメージが変わりました。家でもぜひ、取り入れたいです。
- ・最後に、色んな年代で集まれる場がもっとあった方がいいという話がありましたが、うちは移住してきたので、そういう場があると高島の文化も知れるし、交流ができるし、いいなと思いました。
- ・知識が増えるのもうれしいですが、人とのつながりが一番嬉しかったです。
- ・子どもたちにも食べさせたいと思った。



●朽木で、ずっと伝えていきたいものってなんだろう？③

日時：2月28日（日）13：30～16：00

会場：朽木保健センター

参加者：14名（一般10名、朽木住民福祉協議会3名、市社協1名）

- 内容
- ・へしこのアレンジ料理を考えた若い女性グループから教えてもらい、一緒に調理（スペイン風オムレツ with へしこ、へしこのマカロニトマトグラタン、へしこ中華あんかけ、へしこのオリーブオイルを使ったクラッカーオードブル）
 - ・朽木うーまんずの甘酒活用料理（鶏ハム）と一緒に調理
 - ・朽木で伝えていきたいものについて対話

◆感想（一部抜粋）

- ・前回参加した若い方が、早速、新しい料理を考えて家庭で作ったと聞いて頭がやわらかいなと感心した。
- ・山仕事をしている夫同士に出会ってもらい、山仕事を盛り上げようとグループを作っている。へしこ料理もこのグループで新しい料理を考えた。今後もこんな場があれば参加したい。
- ・みんなで一緒に料理をすることから、人のいろいろな面を知ることでもできて、楽しい時間だった。
- ・へしこの生産者として、新たなへしこ料理を知ることが出来てよかった。漬け方は、今は減塩で漬けている。昔は、塩漬けした鯖から浮いてきた塩でヌカを練っていたが、今はお酒で練っており、発酵も進みやすくなった。塩分が高いのでと敬遠される方が多く、工夫している。
- ・楽しそうに一緒に料理をされているみなさんに、一緒に活動することが、お互いに分かり合える一つの手段だと感じた。
- ・へしこ料理をきっかけに、人のつながりが広がった感じがした。



世代を越えたつながりづくりに、地域資源を使い、誰もが参加できる対話の場づくりを次年度も継続する。さらに、地域の多様な市民とともに、地域の価値や「豊かさ」を地域の人々が再認識し、朽木地域の持続可能な地域づくりについて話せる場につなげたい。

<運営会議記録>

1回目：平成27年度の朽木のみんなと円卓会議について

日時：4月21日（火）9：30～

場所：今津東コミュニティセンター 会議室3

参加者：9名

2回目：朽木住民福祉協議会と円卓会議について協議

日時：5月18日（月）14：00～16：00

場所：朽木ふれあいセンター

参加者：12名

3回目：円卓会議の進め方について

日時：6月12日（金）10：00～12：00

場所：今津東コミュニティセンター 会議室1

参加者：7名

4回目：朽木住民福祉協議会と円卓会議テーマについて

日時：6月15日（月）14：00～16：00

場所：朽木ふれあいセンター

参加者：11名

5回目：若者との円卓会議の進め方について

日時：7月6日（月）14：00～16：00

場所：朽木ふれあいセンター

参加者：13名

6回目：若者との円卓会議2回目について

日時：8月3日（月）15：30～17：30

場所：朽木ふれあいセンター

参加者：8名

7回目：9月以降の円卓会議、中学生の円卓会議について

日時：8月26日（水）19：30～21：30

場所：朽木ふれあいセンター

参加者：11名

8回目：おかあちゃんとの円卓会議、中学生の円卓会議について

日時：9月3日（木）19：30～22：00

場所：朽木ふれあいセンター

参加者：7名

9回目：朽木のみんなと円卓会議進め方について

日時：10月8日（木）15：30～17：00

場所：朽木ふれあいセンター

参加者：9名

10回目：朽木での対話の進め方について

日時：10月29日（木）15：30～17：00

場所：朽木ふれあいセンター

参加者：9名

11回目：12月以降の朽木での対話の進め方、次年度のことについて

日時：11月27日（木）15：30～17：30

場所：朽木ふれあいセンター

参加者：7名

12回目：次年度の朽木円卓会議について

日時：2016年1月14日（木）15：00～18：00

場所：朽木ふれあいセンター

参加者：11名

13回目：2月の朽木での対話の進め方について

日時：2月9日（火）21：15～22：15

場所：朽木ふれあいセンター

参加者：7名

14回目：次年度の朽木円卓会議について

日時：2月23日（火）14：00～17：30

場所：朽木ふれあいセンター

参加者：12名

15回目：次年度の朽木円卓会議について

日時：3月24日（木）14：00～17：00

場所：朽木支所 2階 会議室

参加者：11名

(2) たかしま森林資源活用プロジェクト

目的：多様な市民が参画する「平成26年度 たかしま・未来・円卓会議」を通じて、今取り組むべき地域課題の一つとして【高島市内に放置された森林】があげられた。
そこで、課題となる【森林】を地域資源と捉え【木質バイオマスエネルギー】や【森林体験フィールド】など、多面的機能の活用を通じて、森林所有者と生産者、販売者、消費者、利用者など様々なステークホルダー（利害関係者）の連携を図りながら、地域コミュニティを支える持続可能な、以下の3つの仕組みづくりを目的に開催。

- ① 市内の森林資源を活用した個人や組織、事業者のネットワーク化
- ② 高齢者や障がい者、生活困窮者等の雇用や生きがいにつながる仕組み（小さな仕事）づくり
- ③ 森林の過剰伐採の防止や生物多様性、琵琶湖の水源等を含めた資源管理の仕組み検討

平成27年度は、意識共有のための勉強会を定期的を開催し、関係者間のネットワーク化を目的に開催した。

内容：行政や林業、薪ビジネス、社会福祉協議会、移住定住など、様々な立場から関わる利害関係者（ステークホルダー）に話題提供してもらいながら、数回に分けて、勉強会と意見交換の場を設定。

→【平成27年度 たかしま・未来・円卓会議～たかしま森林資源活用プロジェクト～】として、森林資源の活用等に関心のある方々の参加を募りながら、森林資源活用に特化した円卓会議（連続講座）を実施する。

◆実施体制 ※順不同

メンバー：NPO法人麻生里山センター、F E C自給圏ネットワーク（くつき木の駅実行委員会）
近江通商株式会社、薪来歩（まぎらいふ）、高島市社会福祉協議会、高島市森林水産課
※その他、協力者など随時追加予定

事務局：滋賀県琵琶湖環境科学研究センター、総合地球環境学研究所、
たかしま市民協働交流センター

◆会議および勉強会等

- ① 4/21 第1回PJ会議 参加者9名
場所：今津東コミュニティセンター会議室
内容：プロジェクトの説明と今年度の目標の共有、意見交換
- ② 7/6 第2回PJ会議 参加者12名
場所：今津東コミュニティセンター会議室
内容：企画案の説明と今年度の目標の共有、意見交換
- ③ 8/10 東近江市の事例（kikito）ヒアリング 参加者4名
場所：東近江市役所
内容：プロジェクトの説明と現状の課題説明、取り組みのヒアリング
- ④ 10/19 たかしま森林資源活用PJ勉強会① 参加者13名
場所：今津東コミュニティセンター会議室

内容：関係者による話題提供と意見交換

- ・高島市の森林の現状についてみんなで勉強しよう！
滋賀県西部南部森林整備事務所／山崎 哲氏
- ・安曇川流域・森と家づくりの会の取組みについて
安曇川流域森と家づくりの会／清水 安治氏

⑤ 11/5 たかしま森林資源活用PJ勉強会② 参加者6名

場所：朽木桑原（栗本林業）

内容：関係者による話題提供と意見交換

- ・栗本林業の取組みからみえてくる山のこと、森のこと
栗本林業／栗本 慶一氏

⑥ 12/14 たかしま森林資源活用PJ勉強会③ 参加者14名

場所：今津東コミュニティセンター会議室

内容：関係者による話題提供と意見交換

- ・朽の巨木を守る活動とコミュニティビジネスの可能性
巨木と水源の郷をまもる会／小松 明美氏
- ・高島市の移住・定住支援とポータルサイトの提案
高島市企画調整課 移住定住コンシェルジュ／山川 貴正氏

⑦ 2/1 たかしま森林資源活用PJ勉強会④ 参加者10名

場所：朽木麻生（森林公園くつきの森 やまね館）

内容：関係者による話題提供と意見交換

- ・くつきの森の取組みとこれから
NPO法人麻生里山センター／若林 譲 氏
- ・くつき木の駅プロジェクトの取組み
くつき木の駅実行委員会 委員長／小林 二郎 氏・事務局 三田村 勝 氏

⑧ 3/3 たかしま森林資源活用PJ勉強会⑤ 参加者14名

場所：今津東コミュニティセンター会議室

内容：関係者による話題提供と意見交換

- ・高島の森林・未来へのアプローチ
第1部 滋賀県琵琶湖環境科学研究センター／木村 道徳 氏
第2部 総合地球環境学研究所／手代木 功基 氏

◆勉強会の様子



◆勉強会チラシ等



◆ポータルサイト作成のための打合せ

- ① 2/10 たかしま森林資源活用ポータルサイト打合せ 参加者6名
場所：今津東コミュニティセンター会議室
内容：ポータルサイトの内容検討
- ② 3/3 たかしま森林資源活用ポータルサイト打合せ 参加者5名
場所：今津東コミュニティセンター会議室
内容：ポータルサイトの内容検討



7. 高島らしい働き方暮らし方発信事業

(1) 高島らしさの探求

高島で暮らす豊かさや高島の魅力を市民が気づき、お互いに言葉にすることで、移住し暮らす人や地元の人どちらも、多様な視点や価値を認識する機会を作る目的で実施した。

たかしま市民活動フェスタ2015

「つながりカフェ～高島らしさを見つけようワークショップ～」

日時：10月17日（土）10：20～11：20

会場：今津東コミュニティセンター 1階ロビー

参加者：6名（高校生 3名、市民 3名）

ファシリテーター：坂下靖子

- 内容
- ・わたしの思う「高島らしさ」を4つ以上書く
 - ・「高島らしさ」をエピソードとともに共有
 - ・グループに分かれて、「高島らしさ」について話す
 - ・全体共有



●高島らしさ（一部抜粋）

- | | |
|-----------------|---------------|
| ・自然が多い | ・豊か、資源が多い |
| ・みんな優しい | ・美しい |
| ・協力しあえる | ・余計なものがない |
| ・素晴らしい自然がたくさんある | ・ヒューマンスケール |
| ・人が優しい | ・水がきれい |
| ・地域の人々の交流 | ・食べる物を作っている |
| ・初対面の人とでも仲良くできる | ・琵琶湖がある |
| ・緑が多い | ・古い文化が残っている |
| ・すれ違うだけでもあいさつする | ・人が少ない（多すぎない） |
| ・おだやかでリラックスできる | ・時間がゆっくり流れている |
| ・たのんだら応えてくれる | ・空が広い |
| ・あたたかい人のつながり | ・安曇川の川原が広い |
| ・四季折々の自然と風景 | ・可能性が多い |

●エピソード（一部抜粋）

- ・市外の方から、高島いいところだね。とよく言われていたが、お世辞を言ってくれていると思っていた。でも、いろいろな人に会う中で、人がいい、自然がいいと感じるようになってきた。
- ・道を尋ねたら、連れて行ってくれるような親切な人が多い。
- ・水田や自然の風景も普通のことと思っていたが、市外へ出かけるようになって、良さを感じるようになった。
- ・障がいのある人にも協力的でやさしい人が多いと感じる。
- ・京都や大阪へ遊びに行き、帰ってくると空気がおいしいと感じる。
- ・落ち着けるし、自然の風景が自分にあっている気がする。

(2) 高島らしい働き方暮らし方冊子作成

高島市内のさまざまな業種の事業所から、趣旨に合った方の取材をとおり、高島らしい働き方や暮らし方について冊子にまとめた。また、高校生の市内での仕事に関する情報となり、地域に関心を持つ機会となることを目的に高島高校と検討をした。

取材期間 8月25日～1月12日

取材内容 高校卒業後の進路、仕事を決めた時期や動機、高島で働くことを選んだ理由
仕事をとおしてのやりがい、高島らしい働き方暮らし方のイメージ、この仕事を
目指す若い人へのメッセージ

※取材者は、事業所からの推薦とした。

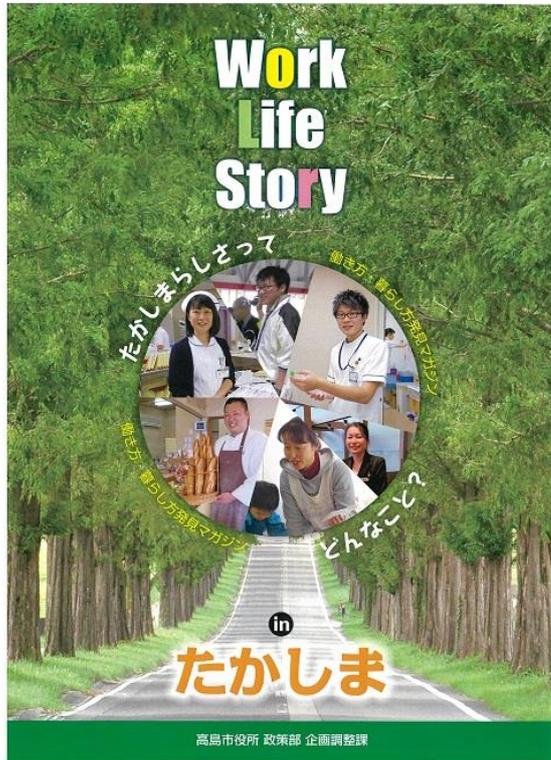
※今後、高校生の職場体験などの受入れについて確認した。

取材先一覧

1	工業	浦岡麻美	女	新旭	新旭電子工業
2	建築業	河本尚子	女	高島	(株)澤村
3	建設業	横山草平	男	今津	田中建材株式会社
4	伝統産業	増田英信	男	新旭	株式会社マスダ
5	自営業	大塚美由紀	女	安曇川	社会保険労務士
6	自営業	木津陽介	男	安曇川	パン・ドール
7	医療	井上照恵	女	マキノ	マキノ病院
8	医療	荒川貴一	男	高島	高島市民病院
9	福祉	三矢大輔	男	安曇川	高島市社会福祉協議会
10	福祉	川島和久	男	新旭	社会福祉法人虹の会
11	福祉	平山勇次	男	今津	株式会社ヤサカ
12	農業	田中 潔	男	今津	うねの農園
13	農業	上山 新	男	朽木	JA 西びわこ
14	観光	遠藤沙織	女	今津	びわ湖高島観光協会
15	観光	澤田知枝	女	長浜市	今津サンブリッジホテル
16	スポーツ・観光	中西公洋	男	マキノ	マキノ高原観光株式会社
17	スポーツ	荒木陽介	男	今津	NPO 法人 TSC
18	林業	島本 達	男	朽木	高島市森林組合
19	食品	西沢勝仁	男	安曇川	有限会社とも栄菓舗
20	商工支援	川越 聡	男	大津市	高島市商工会
21	公務員	西中彩乃	女	新旭	高島市役所 保険年金課
22	保育	桂田幸子	女	安曇川	安曇川はこぶね保育園

冊子「Work Life Story in たかしま」制作
取材者から20名を選定し、編集作業を行った。

デザイン・レイアウト：うーぴ企画（大津市）



Episode 01 新旭電子工業株式会社
技術部 プロセス技術課 浦岡 麻美さん

高校の授業で印象に残っていた会社で、チームでものづくりのおもしろさを感じている

高校の授業で先生が紹介していた会社へ

高校卒業後の進路を悩んでいた。高校は理系で勉強、化学を専攻していたので、大学は高校では学ばなかった地学を選び、地球学科へ進学しました。大学で印象に残っているのは、3〜4名のグループで1つの山を一周がかりで地質調査をする課題です。一帯は旧市街で地質山を調査対象とし、調査計画を立て、調査を実施し、記録をまとめて発表しました。チームが、考えを、まとめて発表する方がかつきました。

就職はどこに参加したのですか？
就職セミナーに参加し、そこで会社名を聞き取りました。企業はプロセス技術課で、基盤に染る新しいラインの開発を担当しています。電子基板は緑色のイメージがあると思いますが、LEDライトには発光を反転する新しいライン、透明機など発光制御が甘くなくもたない新しいラインなど、埋められる製品の特性に合わせて替わります。割がた、反転などを調べながら試作して評価する仕事です。開発現場では、人の手で精緻な調整を行いながら作業も起ります。そんな作業工程の改善や新しい工法の開発もしています。

どんなことに取り組まれていますか？
製造現場との連携が近いので、新しい工法の開発などで、現場の人の役に立っていると感じられるときや、改善してよかったと感じることに、やりがいを感じます。ものづくりの知識が豊富な製造現場と、開発工程の改善、資材の発注管理など新しい物を作る開発部門と、他部門が一緒にチームを組み、考え、作っていくおもしろさがあります。

仕事の上で大助にしていることは？
プロセ技術課で女性の技術者は私一人目です。入社当初、男性の先輩の指導も受けてきましたが、入社して4年、今では話しやすい環境です。チームワークが重要

どんな会社で働きたいですか？
別なとき、高校の授業を思い出しました。先生が「高島市にも電気関係のすごい会社がある。コンテンドーDSなどのゲーム機にも使われているソフト開発を行っている会社だ」と紹介され、思いこんでいた会社があるのだという印象が残っていました。会社説明を聞き、社員同士の距離が近く、親しみやすい印象を受け、入社試験を受け、採用となりました。

チームを組み、考え、作っていくおもしろさ

入社後の仕事について教えてください。
入社後、電子基板はテレビ、エアコン、ゲーム機、教鞭、LEDライト、車など生活のあらゆる電気製品に使われていることを知りました。企業はプロセス技術課で、基盤に染る新しいラインの開発を担当しています。電子基板は緑色のイメージがあると思いますが、LEDライトには発光を反転する新しいライン、透明機など発光制御が甘くなくもたない新しいラインなど、埋められる製品の特性に合わせて替わります。割がた、反転などを調べながら試作して評価する仕事です。開発現場では、人の手で精緻な調整を行いながら作業も起ります。そんな作業工程の改善や新しい工法の開発もしています。

コミュニケーション力が大切

製造現場をめぐりたい人へメッセージをお願いします。
新卒は、自分でやったことが目に残る勢として出まわし、「これを作った」といって報告して来るといいイメージがあるかもしれませんが、現場でも技術でも、コミュニケーション力が大切です。前には、仕事が上手いじゃないことやこの仕事に詳しいの？と感じることもありますが、そんな時は、私の好きな「全入検定」というあの「全きいんたいでッケー」という歌を思い出しながら話しています。

新旭電子工業株式会社
〒500-1511 高島市新旭町東郷589
TEL : 0740-25-5333 FAX : 0740-25-5335 HP : http://www.s-asahi.co.jp/



●高島高校との相談経過

出席：高島高校 教頭 大道敏喜雄
高島市企画調整課 岸田清一郎
たかしま市民協働交流センター 坂下靖子

- ①8月20日、取材の目的について高校へ伝え、地域との連携教育について検討を打診
- ②平成28年1月8日、取材先一覧と次年度の授業の可能性について相談
- ③3月18日、冊子データ完成版をプリント。高校と地域の連携教育について提案
新入生全員に冊子を配布し、教材として利用予定。
次年度、担当者着任後に相談を継続する。

(3) 移住定住ネットワーク会議

日時：11月24日（火）19：30～21：30

場所：高島市役所

参加：坂下靖子

内容 ・移住Uターン施策の進捗状況報告
・意見交換

(4) 移住イベントへの参加

①ふるさと回帰フェア2015（東京）

日時：9月13日（日）10：00～17：00

場所：東京国際フォーラム

参加：原田 将



②お住みつき滋賀セミナー2015 Summer

日時：9月19日（土）14：00～16：00

場所：大阪ふるさと暮らし情報センター

参加：坂下靖子

③JOIN 移住・交流&地域おこしフェア

日時：平成28年1月17日（日）10：00～17：00

場所：東京ビッグサイト西2ホール

参加：原田 将



7. その他

(1) 研修参加記録

高島市における市民活動の支援にならび、地縁型コミュニティの支援を見据えた研修として、コミュニティ政策学会への参加や福祉系の委員会に積極的に参加した。また滋賀県の目指す県民協働について学ぶために県域の研究会に参加した。

◆研修内容

①第14回コミュニティ政策学会 伊賀大会

7月5日(日) ハイトピア伊賀

参加：坂下靖子、原田 将

内容：分科会「地域福祉とコミュニティ」「コミュニティを担う人づくり」「中山間地域コミュニティ」「自由討論部会B」へ参加

②市民活動支援センター意見交換会

- ・第1回 5月28日(金) 県民交流センター

参加：原田 将

内容：各センター事業とスケジュール共有、ミニ講座「NPO 法人の運営と中間支援の役割について」

- ・第2回 9月17日(木) 東近江市役所・あいとうふくしモール

参加：坂下靖子

内容：東近江市 まちづくりネット東近江の設立経緯、協働のまちづくり条例制定の経緯について、FAAVO 滋賀について、あいとうふくしモール視察

- ・第3回 11月19日(木) 14:00~16:00 高島市内

場所：楽農舎なごみの里観光農園、山里暮らし交房風結い

参加：坂下靖子、原田 将

内容：地域の未利用資源を活用した農業、NPO 法人結びめの活動、市民活動に関心のない人へのアプローチについて

③災害支援市民ネットワークしが

総会 4月24日(金) 13:30~16:00 草津市立まちづくりセンター

参加：原田 将

内容 2014年度事業報告、2015年度事業計画について

④生活支援サービスづくり支援講座 第4回

平成28年1月26日(火) 13:30~16:30 能登川コミュニティセンター

参加：原田 将

内容：東近江で進む、逆転の発想による地域づくりとは!?

(2) 外部委員会等参加記録

①たかしま市民まつり実行委員会

委員：坂下靖子 第1回～第3回へかばた館の会議に参加

②つながり応援センターよろず運営委員会

委員：坂下靖子

第1回 5月29日(金) 13:30～16:00 新旭総合福祉センターやすらぎ荘

第2回 8月19日(水) 9:30～21:00 高島市観光物産プラザ

第3回10月23日(金) 13:30～16:00 新旭総合福祉センターやすらぎ荘

第4回12月11日(金) 13:00～15:30 高島市役所高島支所

③つながり応援センターよろず「子どもの貧困対策部会」

委員：坂下靖子

第1回 7月16日(木) 9:30～11:30 今津あいあいタウン地域交流センター

第2回 9月10日(木) 13:30～15:30 今津あいあいタウン地域交流センター

第3回11月11日(水) 13:30～15:30 今津あいあいタウン地域交流センター

第4回平成28年1月26日(火) 10:00～12:00 高島市観光物産プラザ

第5回 3月10日(木) 13:30～15:30 特別養護老人ホーム ふじの里

④住民参加型助け合いサービス連絡会 第7回つながり会議

参加：坂下靖子

6月25日(木) 13:30～15:30 安曇川デイサービスセンター

⑤第2回高島市ボランティア・福祉学習センター運営委員会

参加：坂下靖子

7月3日(金) 13:30～15:30 新旭総合福祉センターやすらぎ荘

⑥第12回高島市福祉のまちづくり推進委員会

10月2日(木) 13:30～16:00 高島市役所高島支所

参加：坂下靖子

⑦平成27年度生活支援体制整備研究会

参加：坂下靖子

第1回 7月30日(木) 13:30～15:30 旧新旭公民館

第2回10月13日(火) 14:00～16:00 高島市観光物産プラザ

滋賀県生活支援コーディネーター養成研修

10月24日(土) 9:00～17:30 滋賀県庁

第3回平成28年2月5日(金) 14:00～16:00 安曇川保健センター

第4回 3月8日(火) 14:00～16:00 高島市観光物産プラザ

⑧平成27年度滋賀県環境学習等推進協議会

推進員：坂下靖子

第2回 7月28日(火) 14:30~16:30 環びわ湖大学・地域コンソーシアム

第3回 10月14日(水) 14:30~16:30 環びわ湖大学・地域コンソーシアム

第4回平成28年1月26日(火) 14:30~16:30

環びわ湖大学・地域コンソーシアム

⑨滋賀県県民協働の推進に関する研究会

委員：坂下靖子

第1回 7月9日(木) 19:00~21:00 滋賀県庁

第2回 8月4日(火) 19:00~21:00 滋賀県庁

第3回 8月31日(月) 14:00~17:00 滋賀県庁

第4回 9月29日(火) 10:00~12:00 滋賀県庁

第5回 10月7日(水) 14:00~15:30 滋賀県庁

第6回平成28年3月28日(月) 13:30~14:45 大津合同庁舎

(3) 講師等対応記録

①きらめき湖南地域活性化推進事業公開プレゼンテーション

日時：4月25日(土)

場所：サンライフ甲西

審査委員：坂下靖子

②長浜市みんなでつくろう市民活動センターワークショップ

日時：7月25日(土)

会場：長浜市社会福祉協議会湖北センター

講師：坂下靖子

内容：つながりで地域を元気に

たかしま市民協働交流センターの役割



③共助社会づくりフォーラム in 滋賀

日時：11月22日(日)

13:00~17:00

会場：コラボしが21

パネリスト：坂下靖子

④平成28年度長浜市市民活動支援事業公開プレゼンテーション・審査会

日時：平成28年2月29日(月) 8:40~18:00

場所：長浜市役所

審査委員：坂下靖子

平成26年度 今津東コミュニティセンター施設利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H27年 1月	2月	3月	合計
和室大	団体数	28	23	30	33	26	32	34	24	27	25	35	27	344
	人数	289	232	389	368	277	374	562	416	355	208	338	509	4317
和室小	団体数	18	16	18	22	14	17	21	20	10	9	11	13	189
	人数	97	248	184	188	113	140	169	243	64	96	128	276	1946
会議室(1)	団体数	33	36	37	40	25	36	34	36	29	27	37	33	403
	人数	252	249	331	277	164	284	458	369	230	204	299	379	3496
会議室(2)	団体数	20	22	30	31	22	27	32	26	16	22	26	22	296
	人数	144	337	342	297	166	284	517	384	144	181	227	366	3389
会議室(3)	団体数	25	24	35	33	24	37	33	26	18	29	36	30	350
	人数	199	324	269	291	182	301	507	342	133	252	307	389	3496
調理実習室	団体数	7	8	7	8	9	10	12	8	9	10	10	12	110
	人数	123	113	102	116	113	150	246	236	176	116	135	310	1936
大ホール	団体数	45	45	51	53	37	41	46	40	21	32	41	44	496
	人数	891	1354	1120	1488	747	851	1234	1160	380	683	1037	1147	12092
1F展示・ロビー	人数	114	313	6376	266	457	476	490	1128	167	366	409	887	11449
合計	団体数	176	174	208	220	157	200	212	180	130	154	196	181	2188
	人数	2109	3170	9113	3291	2219	2860	4183	4278	1649	2106	2880	4263	42121

※利用拒否件数 0件

平成27年度 今津東コミュニティセンター施設利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H28年 1月	2月	3月	合計
和室大	団体数	17	21	23	25	13	19	28	20	26	24	21	26	263
	人数	195	253	261	301	181	201	352	434	363	325	232	409	3507
和室小	団体数	13	14	12	14	10	11	16	20	13	10	13	12	158
	人数	93	106	117	90	59	61	84	128	60	56	118	86	1058
会議室(1)	団体数	39	30	36	28	24	37	37	29	31	28	34	35	388
	人数	261	206	303	209	157	327	268	209	213	208	238	281	2880
会議室(2)	団体数	23	27	33	22	19	25	20	25	19	17	24	19	273
	人数	162	180	302	215	161	177	155	218	123	103	208	165	2169
会議室(3)	団体数	31	37	34	29	18	25	26	31	24	24	27	28	334
	人数	236	314	292	218	158	185	224	308	206	171	300	237	2849
調理実習室	団体数	8	9	8	10	7	7	11	8	12	9	7	12	108
	人数	122	117	104	156	85	94	181	115	169	107	72	125	1447
大ホール	団体数	35	46	48	47	34	38	46	33	25	27	37	43	459
	人数	677	1199	1549	2561	1180	933	1044	1085	518	663	1042	1040	13491
1F展示・ロビー	人数	137	519	5789	489	307	245	927	571	185	474	406	441	10490
合計	団体数	166	184	194	175	125	162	184	166	150	139	163	175	1983
	人数	1883	2894	8717	4239	2288	2223	3235	3068	1837	2107	2616	2784	37891

※利用拒否件数 0件

Ⅱ 今津東コミュニティセンター

(2) 自主事業

① 平成 27 年 5 月 29 日 HUG 体験

当館が避難所に指定されている、北浜・中浜区民を対象に「HUG 体験（避難所運営ゲーム）」を開催しました。

会場：2F 和室大

時間：19:30～22:00

参加人数：区民 19 名、社協 4 名、コミセン 5 名、合計 28 名

内容：

2 チームに分かれ、それぞれのテーブルに実際の避難所となる館の間取り図を拡大し、社協ボランティアスタッフの方に各テーブルでゲームを進行していただきました。

参加者は、進行役の社協スタッフから出題される問題に随時対応。

災害時、避難所に置いて想定される様々な事態にカードゲーム形式で対応していただきます。

感想：

はじめは少し消極的な参加者も、ゲーム序盤から少しずつ難しくなる問題にチーム全員で協力して対応され、最後まで運営をされていました。

参加者の頭を悩ませる様々な問題もゲームが終わってみるとチームがまとまる一因となりとても充実した時間となったようでした。

参加者に感想を聞いたところ、楽しかったので、また開催してほしいとのご意見をいただきました。

ただの避難訓練より、実際の災害時の避難所の運営が具体的に想像できること、チームの全員が参加して問題を解決していかないといけない状況に、リアリティをもって参加者全員が真剣に参加できる点が良かったと思います。



(2) コミセン自主事業

② デジタルカメラ勉強会

4月8日 (第一回)	参加者10名	第一会議室	デジカメ基本講習
4月22日 (第二回)	参加者10名	第一会議室	デジカメ基本講習
5月13日 (第三回)	参加者11名	ポーリス資料館	春山作品展見学及び各自写真撮影の講評
5月27日 (第四回)	参加者12名	撮影会	カキツバタ撮影会
6月10日 (第五回)	参加者9名	撮影作品講評	
6月17日 (第六回)	参加者8名	撮影会	菖蒲園 (風車村)
6月24日 (第七回)	参加者8名	撮影作品講評	
7月8日 (第八回)	参加者8名	撮影作品講評	
7月22日 (第九回)	参加者9名	撮影作品講評	
8月1日 (第十回)	参加者10名	撮影会	今津夏祭り
8月5日 (第十一回)	参加者9名	撮影作品講評	
8月26日 (第十二回)	参加者8名	撮影作品講評	
9月9日 (第十三回)	参加者9名	撮影作品講評	
9月23日 (第十四回)	参加者11名	撮影作品講評	

前期勉強会が終了し、後期については、月1回の開催により継続。
他の作品の等を見ることにより、個人の能力UPを図る。

10月14日 (第十五回)	参加者6名	撮影作品講評	
10月28日 (第十六回)	参加者7名	撮影作品講評	
11月11日 (第十七回)	参加者6名	撮影作品講評	
12月9日 (第十八回)	参加者7名	撮影作品講評	
1月13日 (第十九回)	参加者7名	撮影会	
2月10日 (第二十回)	参加者6名	撮影作品講評	
3月9日 (第二一回)	参加者7名	撮影作品講評	



③講談社 全国訪問おはなし隊

「講談社 全国訪問おはなし隊」のキャラバンカーの受け入れを行い、「NPO 法人 絵本による街づくりの会」による読み聞かせ会を開催した。

日 時 2015年7月5日(土)

参加人数 11名

内 容

日 時	平成27年7月5日
参加人数	11名
内 容	キャラバンカー見学、絵本読書、 「NPO 法人 絵本による街づくりの会」による読み聞かせ(メンバー4名)

④世界の台所

高島市国際協会と共催で、高島市内に在住の外国人を講師に招き、料理教室を開催した。

	日時	参加人数	講師	内容
第一回	11月19~20日	20名	鄭 文子(韓国)	白菜キムチ
第二回	3月16日	17名	杉原 マリー (フランス)	グジェール スープアロニオン



平成27年11月20日 キムチ講座の様子



平成28年3月16日 南フランス講座の様子

